

出前講座報告書

実施日時	2021年8月10日 10:00~11:30	主催者名	津軽保健常盤支部 薔薇班
講師名	ファルマ浪岡薬局 高橋和希	会場名	小学校通り集会所
テーマ	薬剤師による薬の正しい飲み方		
参加人数	6人	報告者	鈴木健仁 高橋和希

《質問された内容など》

【講座内容】

○薬はどうして水(又は白湯)で飲まないといけない?水の量はどのくらい?→薬の効能が変わる、副作用が起こる場合がある。

○食後は何分まで?食間はいつ?頓服は何?

○目薬は1本でどれくらいもつ?→開封後、約一か月。

○飲みにくい場合は割ったりして良い?→自己判断はダメ。薬の形には意味がある。薬剤師に相談。

○シップは何枚貼っても良い?→明確には決まっていない。(1日2枚と決まっているものもある)はがした後も効果が持続する。

○骨粗鬆症治療薬の正しい飲み方 なぜ(骨リモデリングのバランスが崩れる)、どんな人になるのか(高齢者、女性、栄養不足、運動不足等)

○ポリファーマシー(多くの薬を飲むことで副作用など有害な問題が起きている状態)

→高齢者になると薬の数も多くなる→薬の種類が多いと副作用も多くなる。

【質問内容】

○水なしで薬を飲むと効能が下がる?→薬をコップ1杯程度の水で飲むのに比べて、少量の水の時は、血液中の薬の濃度の上がり方が悪くなる。臨床試験ではコップ一杯の水でテストしているため、期待する効果が出なくなる可能性がある。

○シップの使用期限が過ぎているものは?→使用しない。

○かかりつけ薬剤師を見つけるには?→薬局に行って聞いてみる。

○院内の薬局では薬の説明がない →院外だと自分で良い薬局を選べる。

《気づいたことや今後の教訓など》 記:高橋和希

・時間が大幅にオーバーしてしまっただが、有意義だったと思う。湿布や目薬などより馴染みのある薬について話題にすることで興味を持ってもらえたと思う。少人数だったので、話しながらも疑問に持ったことをその都度質問をしてくれ、雰囲気も良く、より理解も深まったのでないかと思う。

